



20年第1回臨時区議会
第2回定例区議会

新型コロナウイルス対策

区民の命とくらしをまもれ

日本共産党



6月8日区長・教育長への申し入れ

日本共産党区議団はこの間、新型コロナウイルス感染症に係る4回50項目の区長等への申し入れを行ってきました。

5月11日には20年第1回臨時区議会が開催され、新型コロナウイルス対策に係る補正予算(第1号)を全会一致で可決しました。

また、第2回定例区議会は6月16日から7月15日の会期で開催され、一般質問には清水みちこ議員、渡辺くみ子議員が立ち、コロナウイルス対策をはじめ区民の命とくらし営業を守る立場で質問。その結果、介護事業者やひとり親世帯への新たな区独自支援が補正予算(第3号)に盛り込まれ、全会一致で可決されました。さらに、区民の声にこたえ、「性暴力の根絶を目指す決議」などが可決されました。

「補正予算で実現した主なもの」(補正1号、2号、3号)

- PCR検査センターの設置及び拡充
- 中小企業への無利子融資
- 小・中学校就学援助世帯に休校中の昼食費用補助(1日500円)
- 児童生徒のオンライン学習環境整備
- 妊婦に対するマスクの配布

- 国民健康保険の傷病手当金の実施
- 国民健康保険料の減免
- 介護サービス事業者への区独自の特別支援金(1事業所10万円)
- ひとり親世帯への区独自の緊急支援給付金(児童扶養手当利用のひとり親世帯に5万円など)

区議団の申し入れで
実現!



清水みちこ議員が一般質問 [6月23日]

清水議員は新型コロナウイルス感染症対策を中心に一般質問を行いました。

まず、清水議員はこの間の補正予算(321億円)では、一般会計(区のお財布)からは18億2,100万円と区独自の対策が少なすぎることを指摘。そのうえで「これで区民の生命、財産を守るのに十分と考えているのか」と区長に迫りました。これに対し区長は「区民に寄り添った対策を講じてきた」と答弁しました。

しかし、新型コロナによって全世代、あらゆる業種で深刻な影響が出ており、補償と支援の充実が求められています。そのひとつとして子育て世代全体への支援、中でもジェンダーの視点か

らも派遣やパートなど非正規で働く女性の割合の多いこと、特にシングルマザーの貧困は深刻でひとり親世帯への支援は重要です。

区民アンケートへは「コロナで仕事がなくなり収入がゼロ」「子どもにおなか一杯食べさせてあげられない」など、切実な声が寄せられています。

清水議員は練馬区、北区、目黒区などのように豊島区独自のひとり親家庭への給付金支給を強く求めました。その結果、児童扶養手当利用のひとり親世帯に5万円、二人目以降の子に一人3万円の緊急支援が行われることになり大きく前進しました。

最後に、区民から不安の声が出ている羽田空港新ルートの撤回を国に求めるよう迫りましたが、区長は冷たく拒否しました。



渡辺くみ子議員が一般質問 [6月24日]

渡辺議員は、わが党のアンケートに「PCR検査をもっと早くたくさんできるようにしてほしい」との声が寄せられていること等にふれ、PCR検査と感染症対策の実態、また経済活動との両立への区の取り組みについて質しました。区は「PCR検査は月1500件実施可能で区の紹介者は、ほぼ100%検査を実施。感染の実態把握はできている」「『新しい生活様式』の呼びかけと引き続き感染拡大収束に取り組む」と答弁。また長崎健康相談所の保健所機能強化について強く求めましたが、区は拒否しました。

次に国民健康保険の傷病手当の支給対象を自営業者やフリー

ランス等への拡充を求めましたが、区長は拒否しました。

最後に都立大塚病院について、小池都知事が都立大塚病院を都の直接的な運営から外し、地方独立行政法人化の方針を決定したことを取り上げ、「今回のコロナ感染症に対しても都立病院は大きな役割を果たしている」と指摘、独立行政法人化に反対するよう区長に強く求めました。しかし区長は「求めない」と冷たい答弁。

尚、介護事業所へ区独自の支援を強く求めたところ、区長は「区独自に各事業所に10万円の支給を検討している」と答弁しました。

「性暴力の根絶を目指す決議」など決議2件、意見書1件を可決

6月16日第2回定例区議会初日、豊島区議会は、「性暴力の根絶を目指す決議」と「性犯罪に関する刑法規定の見直しを求める意見書」を賛成多数で、可決しました。

提案者は、自民党、公明党、都民ファースト・民主、日本共産党、無所属の会、立憲としまの各会派で、無所属元気の会も賛成し、反対したのはくつざわ亮治議員(テレビ改革党)のみです。

「性暴力の根絶を目指す決議」では、性暴力は重大で深刻な被害が生じるとしたうえ、「また、その後の過程において、周囲からの発言や対応で被害者がさらなる心理的・社会的ダメージを受ける二次被害も大きな問題であり、このような被害があることも併せて啓発し、性暴力の根絶を目指すことが重要である」としています。

また、「SDGsの実現に向け『誰一人取り残さない』まちづくりを推進する決議」は全会一致で可決されました。

また、「SDGsの実現に向け『誰一人取り残さない』まちづくりを推進する決議」は全会一致で可決されました。

「議員による差別発言やヘイトスピーチへの対応を求める請願」が賛成多数で可決

この請願は豊島区議会に対して、①あらゆる差別やヘイトスピーチに反対する声明を出すこと。②議会内外で議員による差別発言やヘイトスピーチにあたると思われる発言があった時、どのように対応をするか示すことを求めるものです。

審査された議会運営委員会で、①については、全会一致で可決された「SDGsの実現に向け『誰一人取り残さない』まちづくりを推進する決議」に包含されること、②については、「必要があると認められる場合には、その内容を確認するために、議長が当該議員からヒアリングを行うなどで対処する」ということが了解され、委員会では全会一致で請願は採択となりました。本会議では、くつざわ亮治議員のみ反対で賛成多数で採択されました。

区民アンケートへのご協力ありがとうございます。

中間報告
(7月20日現在)

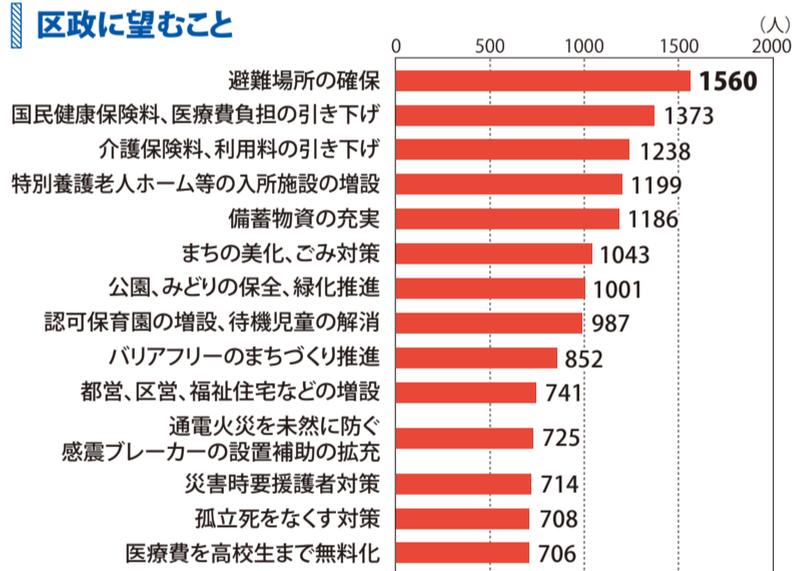
現在2503通の回答が寄せられています。集計が終わった2459通について中間報告いたします。詳しい内容は、区議団ホームページをご覧ください。また、ご連絡いただければ送付いたします。



集計総数2459通

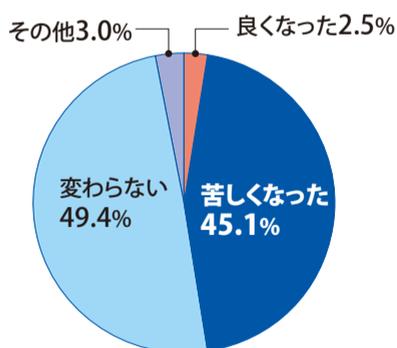
年代別(人数) 10代(3)・20代(143)・30代(222)・40代(228)・50代(333)・60代(444)・70代(581)・80代以上(316)・未記入(189)

区政に望むこと



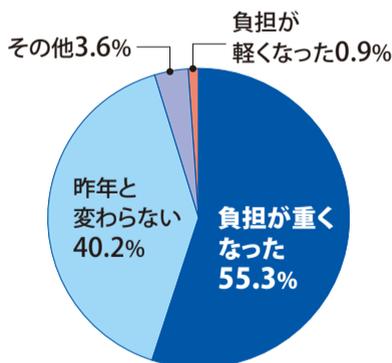
くらしについて

この1年であなたのくらしはどのように変わりましたか？



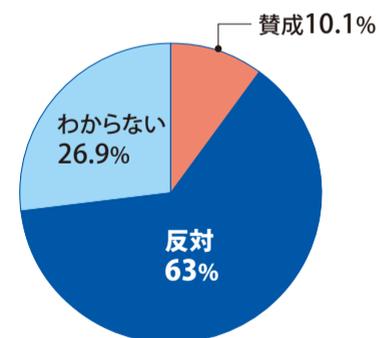
税金、社会保障について

住民税、健康保険料、介護保険料の負担は昨年と比べてどうですか？



池袋駅を中心とした開発について

池袋保健所は現在、造幣局跡地に約17億円かけて仮移転。今後さらに40億円かけて南池袋の再開発ビルにまた移転することについて



渡辺 くみ子

区議団団長
施設・用地副委員長
区民厚生委員

☎3971-1950



小林 ひろみ

区議団副団長
副都心副委員長
総務委員
行財政委員

☎3955-8244



儀武 さとる

区議団幹事長
議会運営副委員長
都市整備委員
防災・震災委員

☎3918-9458



清水 みちこ

区議団副幹事長
環境・清掃副委員長
子ども文教委員

☎6912-8679